

熊谷市農業委員会 宛

私は、熊谷市農業委員会の農地利用最適化推進委員の委嘱等に関する規則第5条の規定に基づき、熊谷市農業委員会の農地利用最適化推進委員に応募します。

## 記

ふりがな	くまがや たろう	性別
氏名	熊谷 太郎	Ⓐ・女
住所	〒360-0041 熊谷市宮町2丁目〇〇番〇号〇〇	
生年月日	〇〇年〇〇月〇〇日生（満〇〇歳）	
電話番号	080-0000-XXXX	
職業	農業	
経歴	〇〇株式会社 営業 〇年〇月〇日～ 〇年〇月〇日まで 〇〇農協〇〇支店 支部長 〇年〇月〇日～ 〇年〇月〇日まで 〇〇自治会 副会長 〇年〇月〇日～ 〇年〇月〇日まで	
農業経営の概況	専業 自作地 〇〇㎡ 借入地 △△㎡ 合計□□㎡ 水稲、ネギ、キャベツ	
応募する地区（該当地区に○）	Ⓐ地区 ・ 第2地区 ・ 第3地区 ・ 第4地区 第5地区 ・ 第6地区 ・ 第7地区 ・ 第8地区	
熊谷市農業委員候補者への推薦又は応募の有無	Ⓐ ・ 無	

※ 上記の情報は、住所及び電話番号を除き全て公開となります。また、提出された書類については、返却いたしません。

誓約書兼同意書	
熊谷市農業委員会 宛	
私は、熊谷市農業委員会の農地利用最適化推進委員の委嘱等に関する規則第3条に規定する資格に該当することを誓約するとともに、当該誓約内容に関する真偽の確認を目的として熊谷市農業委員会が関係部署・関係機関に照会することに同意します。	
令和6年2月〇日	
氏名 <u>熊谷 太郎</u>	

※ 添付する書類

応募する者の住民票の写し

(本籍の記載があり、かつ、個人番号が記載されていない、3か月以内に発行されたもの)

## 応募理由書

※ 応募に当たり、熊谷市農業委員会の農地利用最適化推進委員としての活動に対する意気込み、地域農業・地域活動の実績等、志望する理由を記入してください。

〇〇株式会社退社後、両親から米の作付を教わりながら、野菜等の栽培技術を〇〇県農業大学校で学び、現在は、ネギの栽培にも積極的に取り組んでいる。

認定農業者として農地利用の最適化の集積・集約化を実践し、積極的に活動している。

また、地域の地理や農家情報に精通しており、担い手への農地利用の集積や遊休農地の解消等、委員会の活動に貢献したい。

農地法に基づく農地の取得、転用等適正な農地利用を進めていくことに関心があり、地域の状況も把握できていることから、委員になってその知識を活かしたい。

令和▽▽年から2年間、〇〇自治会の副会長を務めた。平成▽▽年度には県知事から◆◆表彰を受けている。

※本人の意気込みとして担当地域の問題やその解決方法についてどのように考えるかを必ず記入してください。

例)

担当地区内の〇〇には、耕耘のみがされていて作付けがされていない農地が1ヘクタールほど広がっているが、ここはやがて荒廃化してしまう恐れがあるため、所有者を訪問し、今後の意向を確認し、担い手へ斡旋をすすめたい。